

令和2年度 宮古島市施政方針

各学校の施設については、中長期的にトータルコストの縮減・平準化を推進し、安全性の確保や機能の維持・向上を図ります。

また、児童生徒のスポーツ・文化活動などによる地区選抜代表選手と

令和3年4月に開校予定の「城東中学校」については、城辺地区統合中学校実施計画を策定し、より良い教育環境の整備を行います。

外国人観光客が大幅に増加し、ますます国際化が進展してまいります。学校教育については、確かな学力の定着、豊かな人生の育成、健康・体力の育成に係る事項について取り組みの充実を図るとともに、国際化に対応した、情報活用能力を備えた人材を育成するための学校教育環境整備を推進します。

4 国際化社会で活躍するための教育の推進

平和への取り組みについては、恒久平和を希求する心を醸成するため、沖縄県平和祈念資料館などの関係機関と連携し、「児童・生徒の平和メッセージ展」を開催します。



【たったひとりのエコマラソン】

また、台風時の生活物資不足への対応や農水産物の出荷など、物流機能の円滑化、ストック機能の強化を図るため、平良港に総合物流センターの整備に向け取り組みます。

畜産については、発情・分娩監視システムの普及を促進し、畜産農家の長時間拘束の解消を図るとともに分娩時の事故を防止し出荷頭数の向上に繋がります。

農業基盤整備については、城辺の大牧南地区や砂川第2地区、下地の竹アラ地区などにおいて区画整理やかんがい排水施設の整備を行い、機械化による作業の効率化及び農業用水の効果的な活用を促進し、高付加価値農業の展開による収益性の向上に努めます。

3 SDGsの推進によるバランスの取れた島づくり

本市の美しい自然環境や地域の特性を維持していくため、宮古島市景観条例の見直しを行い、市民と一体となってエコアイランド宮古島の取り組みを強化します。

また、再生可能エネルギーを最大限活用し、島全体でエネルギーを効率的に利用するスマートコミュニティの構築に向けた実証事業や、電気自動車の普及促進を図り、循環型社会の構築を目指します。

地下水保全については、地下水の窒素濃度の更なる低減に取り組むとともに、地下水モニタリング調査を継続して実施します。

さらに、令和3年度を初年度とする第4次地下水利用計画の策定に着手し、水質や水量の維持・保全に努めます。

また、有機肥料や緩効性肥料の活用、畜産糞尿の適正処理を図り、地下水汚染の防止、環境に優しい農業を推進します。

あわせて、森林のもつ水源涵養を

しての県大会や全国大会へ派遣される際の支援を行います。

教職員の長時間勤務については、働き方改革を進め、勤務時間管理システムの整備に取り組むとともに、ストレスチェックなどを行い、教職員の労働安全衛生体制の確立に努めます。

そのほか、国際化に通用する人材の育成・確保に向けて、台湾・長栄大学による宮古島分校設置の取り組みを推進します。

また、高等学校卒業後に進学を望む若年層が必然的に転出するという離島特有の課題を解消し、若年層の定住人口増加を図るため、引き続き、高等教育機関設置の取り組みを進めます。



【交流都市『市貝町』生徒来訪】

はじめとする多面的な機能と効果を維持するため、造林を推進するとともに、既存森林の適切な管理を行います。

し尿処理については、近年の観光客の急増に対応した新たなし尿等処理施設の整備に取り組みます。

ゴミ対策については、不法投棄ゴミ対策の強化や農業用廃プラスチックの適正処理に努めます。4月に供用開始されるリサイクルセンタープラザ棟を活用し、ゴミの減量化や資源ゴミのリサイクルなどの取り組みを強化します。

今年10月には、国際保護鳥で絶滅危惧種であるサシバについて考える国際サシバサミットを本市で開催し、サシバのしま宮古を世界に発信します。また、宮古島の固有種・希少種やラムサール登録湿地である与那覇湾の保全に努めます。

まちづくりについては、これまで運用してきた防災情報システム機能の強化に加え、電線地中化を推進し、より災害に強いまちづくりを目指します。

また、老朽化が進んでいる都市公

5 郷土愛を育む生涯学習の推進

国際化や情報化の進展に伴い市民のニーズが多様化し、学習意欲が高まる中、生涯にわたる自発的な学習を支援するための取り組みを推進します。

また、地域においては少子高齢化や人口減少などの社会環境の変化により伝統行事などの存続が危ぶまれていることから、各地域の特色ある文化を継承し、島の文化に誇りと愛着が持てるよう、地域の文化活動を支援します。

また、未来創造センターを拠点とした市民の読書活動、公民館活動などを支援するとともに、市民の多様なニーズに応じた図書や視聴覚資料を収集し、市民のくらしと地域文化の継承・創造に役立つ施設として機能的に運用してまいります。

生涯学習については、公民館を活用した講座・サークル活動を促進するとともに、市民の生涯学習活動の発表の場として生涯学習フェスティバルなどを開催します。

文化振興については、優れた芸術

園内に設置された施設の適正な維持管理や更新を実施するとともに、既存住宅のリフォーム支援や公営住宅整備、空き家対策について取り組めます。

さらに、地域活動の拠点となる集落センター等の備品設置などの支援を行うとともに、地域活動に積極的な団体を支援します。そのほか、持続可能な地域づくりを支援するため、地域おこし協力隊を積極的に活用します。

男女共同参画社会の実現については、ワーク・ライフ・バランスを推進し、男女がともに活躍し豊かで活力ある社会の実現のため、男女共同参画計画「うい・ずう・プラン」を推進します。



【児童・生徒の平和メッセージ展】

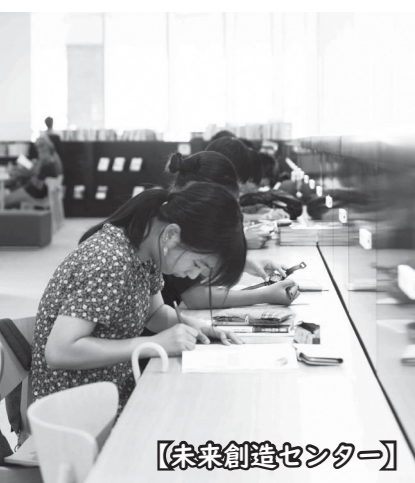
に触れる機会の提供や担い手の育成、文化の創造を広く発信するため、市民総合文化祭やマティダお笑い劇場などを実施します。

また、本市の伝統工芸品である宮古上布の振興発展のため、織物従事者団体への支援や後継者育成事業を実施します。

スポーツ振興については、昨年の台風により損壊した総合体育館に代わる新たなスポーツ施設の整備計画を策定し、早急な整備に向け取り組みます。

また、伊良部地区に屋外運動施設を整備し、市民のレクリエーション活動の場及びスポーツによる人材育成と交流の場として活用します。

総合博物館については老朽化により新たな整備が求められていることから、市民や有識者の意見を踏まえた用地選定に取り組めます。



【未来創造センター】